

- 《履修上の留意事項》1．配付資料に基づいて授業を進行するので、必ず出席すること。
2．授業資料を配付する場合には、重要ポイントなどをメモとして適切に書き留めること。
3．授業終了後、授業内容をまとめる習慣を身に付けるように努めること。

《担当者名》教 授／細矢 明宏 hosoya@ 教 授／入江 一元 irie@ 教 授／越野 寿 koshino@
教 授／飯嶋 雅弘 iijima@ 講 師／中尾 友也 y-nakao@ 助 教／渋谷 徹 toru3150@
助 教／高橋 昌己 mtakah01@

【概 要】

前半では、専門基礎科目を学ぶ導入として歯と歯周組織の組織学的構造及び発生過程に関する基本的な事項を学ぶ。後半では、頭蓋の大まかな構造を学ぶとともに、頭蓋の構造と歯科臨床との関係性を体験し、専門基礎科目で頭蓋の構造を学ぶ意義を理解する。

【学修目標】

2年次に履修する組織学や解剖学を学ぶための基礎知識として、人体構造科学では人体の構造の特徴及び用語とその意味を学び理解する。

- エナメル質にみられる構造を列挙する。
- 象牙質にみられる構造を列挙する。
- 歯髄にみられる細胞の種類と機能を説明する。
- セメント質の構造を説明する。
- 歯周組織の構造を説明する。
- 口腔粘膜の特徴を説明する。
- 歯と歯周組織の発生過程を説明する。
- 頭蓋骨を構成する骨の種類を列挙する。
- 頭蓋骨の外観でみられる構造を説明する。
- 外頭蓋底の構造を列挙する。
- 骨口蓋の構造を説明する。
- 下顎骨、顎関節の形態を理解し、咬合器の構造との関連を考察する。
- 頭部エックス線規格写真分析の計測点を列挙し、セファロ分析との関連を考察する。
- 歯科診療で用いられるCTやエックス線写真でみられる頭蓋の構造について考察する。
- 全身の骨の名称を列記する。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	1．エナメル質	エナメル質の特徴、物理化学的性質及び組織構造を学ぶ。 教科書 p.34-39 歯学教育モデル・コア・カリキュラム(E-3-1)-)	細矢 明宏
2	2．象牙質	象牙質の特徴、物理化学的性質及び組織構造を学ぶ。 教科書 p.39-42 歯学教育モデル・コア・カリキュラム(E-3-1)-)	細矢 明宏
3	3．歯髄 4．セメント質	- 歯髄の組織構造と機能を学ぶ。 - セメント質の特徴、物理化学的性質及び組織構造を学ぶ。 教科書 p.43-48 歯学教育モデル・コア・カリキュラム(E-3-1)- ,)	細矢 明宏
4	5．歯根膜 6．歯槽骨	- 歯根膜の組織構造について学ぶ。 - 歯槽骨の組織構造について学ぶ。 教科書 p.49-54 歯学教育モデル・コア・カリキュラム(E-3-1)-)	細矢 明宏
5	7．歯肉 8．口腔粘膜	- 歯肉の組織構造について学ぶ。 - 口腔粘膜の組織構造と部位による違いを学ぶ。 教科書 p.55-57 歯学教育モデル・コア・カリキュラム(E-3-1)-)	細矢 明宏

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
6	9．歯と歯周組織の発生	歯と歯周組織の発生過程を学ぶ。 教科書 p.64-71 歯学教育モデル・コア・カリキュラム(E-3-1)- ,)	細矢 明宏
7	10．歯と歯周組織の構造及び発生のまとめ	歯と歯周組織の構造や発生のまとめを行う。 教科書 p.34-56、p.64-71 歯学教育モデル・コア・カリキュラム(E-3-1)- , ,)	細矢 明宏
8	中間試験	試験範囲：第1回～第7回までの内容で、歯・歯周組織の構造と発生に関する知識を問う。	細矢 明宏
9	1. 頭蓋の外観 2. 頭蓋を構成する骨	- 頭蓋の概観 - 前面観、側面観で頭蓋を構成する骨の名称を学ぶ。 - 頭蓋模型を用いて頭蓋を構成する骨とその連結を確認する。 教科書 p.3-15 歯学教育モデル・コア・カリキュラム (PS-01,A-3-1-2-1,A-3-2-2)	入江 一元 浜井 徹 高橋 昌己
10	3. 頭蓋の前面観，側面観 4. 頭蓋冠の骨の連結	- 頭蓋の概観 - 前面観、側面観でみられる構造（孔や突起など）の名称を学ぶ。 - 頭蓋模型で頭蓋にあく孔や突起などの構造を確認する。 - 頭蓋冠の骨の連結（縫合）の名称を学ぶ。 - 頭蓋模型で頭蓋冠の縫合がどの骨とどの骨の連結か確認する。 教科書 p.3-10、p.27-30 歯学教育モデル・コア・カリキュラム (PS-01,A-3-1-2-1,A-3-2-2)	入江 一元 浜井 徹 高橋 昌己
11	3. 内頭蓋底 4. 外頭蓋底 5. 骨口蓋	- 内頭蓋底の構造を学ぶ。 - 外頭蓋底の構造を学ぶ。 - 骨口蓋の構造を学ぶ。 - 頭蓋模型で頭蓋底にあく孔が交通する部位を確認する。 教科書 p.11-16 歯学教育モデル・コア・カリキュラム (PS-01,A-3-1-2-1,A-3-2-2)	入江 一元 浜井 徹 高橋 昌己
12	6. 下顎骨 7. 顎関節	- 下顎骨の構造を学ぶ。 - 頭蓋模型の下顎骨とパノラマX線像でみられる下顎の構造と比較し、構造を確かめる。 - 顎関節の構成を学ぶ。 教科書 p.31-34 歯学教育モデル・コア・カリキュラム (PS-01,A-3-1-2-1,A-3-2-2,8)	入江 一元 浜井 徹 高橋 昌己
13	9. 咬合器と頭蓋骨	咬合器と頭蓋の構造を比較し、咬合器の成り立ちを学ぶ。 教科書 p.33-34、p.37-38 歯学教育モデル・コア・カリキュラム (A-3-2-8,D-5-3-1-11)	入江 一元 越野 寿
14	10. 頭部エックス線規格写真と頭蓋骨	セファロ分析の計測点と頭蓋の構造とを比較し、セファロ分析の意義を考察する。 教科書 p.3-16 歯学教育モデル・コア・カリキュラム (A-3-2-2,D-5-5-2,3)	入江 一元 飯嶋 雅弘 中尾 友也
15	11. 医用検査画像でみる頭頸部の構造	エックス線画像をはじめとした医用検査画像でみられる頭頸部の構造を考察することにより、頭蓋骨と周辺の軟組織の構造を理解する。 教科書 p.3-40 歯学教育モデル・コア・カリキュラム (A-3-2-2,D-2-5-7)	入江 一元

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
	12. 全身の骨	全身の骨の名称を学ぶ。 教科書 p.1-40 歯学教育モデル・コア・カリキュラム(A-3-1-2-1)	

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

試験100% 中間試験（50%）と定期試験（50%）による総合評価とする。

- ・ 中間試験（組織学分）では教科書、講義ノート、課題プリントの内容に基づいて説明した授業内容を問う。
- ・ 前期定期試験（解剖学分）では授業中に教科書、課題プリント、配付資料に基づいて説明した授業内容を問う。

【教科書】

「歯科国試パーフェクトマスター 口腔組織・発生学」第2版 中村浩彰 著 医歯薬出版

「口腔顎顔面解剖ノート」 井出吉信監修 学建書院

【参考書】

「入門人体解剖学」藤田 恒夫 著 南江堂

「簡明歯の解剖学」三好 作一郎 編 医歯薬出版

「入門組織学」改訂第2版 牛木 辰男 著 南江堂

「口腔組織・発生学」第3版 前田 健康、網塚憲生、中村浩彰（編）医歯薬出版

「カラーアトラス 口腔組織発生学」第3版 磯川 桂太郎、川崎 堅三、柳澤 孝彰 編 わかば出版

【備考】

【解剖学】

教科書，講義プリントの他、頭蓋模型を持参すること。

色鉛筆，マーカーペンなどがあると良い。

【学修の準備】

【解剖学】

教科書を参考に事前に提示する課題（標準60分程度）を行って、授業に臨むこと。

授業後は授業時に出てきた専門用語・解剖学用語をまとめ覚えておく（標準60分程度）。

【ディプロマ・ポリシーと当該授業科目の関連】

DP1. 安全で質の高い歯科医療を提供するために必要な専門知識に基づく問題解決能力と患者ケアのための診療技能とからなる専門的実践能力、および医療・医学研究の発展のために必要な情報・科学技術の活用能力を身につけている。（専門知識に基づいた問題解決能力、患者ケアのための診療技能、情報・科学技術を生かす能力）

DP2. 「総合的に患者・生活者を支える歯科医療」を提供するために必要な高い倫理観、他者を思いやる豊かな人間性および優れたコミュニケーション能力を身につけている。（総合的に患者・生活者をみる姿勢、プロフェッショナリズム、コミュニケーション能力）

DP3. より安全で質の高い歯科医療を実践し社会に適応する医学を創造していくために生涯にわたって自己および他の医療者との研鑽を継続しながら医療者教育と学術・研究活動にも関与できる能力を身につけている。（科学的探究、生涯に渡ってともに学ぶ姿勢）

【実務経験】

細矢 明宏（歯科医師）、入江 一元（歯科医師）、越野 寿（歯科医師）、飯嶋 雅弘（歯科医師）、中尾 友也（歯科医師）、渋谷 徹（歯科医師）、高橋 昌己（歯科医師）

【実務経験を活かした教育内容】

基礎医学としての解剖学だけでなく、歯科放射線、歯科矯正学、歯科補綴学などの臨床科目で学ぶ内容と解剖学との関連を重視した教育内容としている。

【その他】

この科目は主要授業科目に設定している